

「いじめアンケート調査」の項目について

いじめの問題を解決するためには、いじめの兆候にいち早く気づき、早期に対応する必要があります。教職員は、児童生徒の日ごろの様子を観察し、児童生徒が発する「小さなサイン（言葉、表情、態度、行動など）」を見逃さず、発見することが大切です。併せて、「いじめアンケート調査」を活用しながら早期発見・早期対応を行う必要があります。そのために次のような項目が挙げられます。

●アンケートの質問項目の作成について

アンケートは、速やかに実施・集計できる学校独自の簡単なものを、定期的に繰り返し実施することが大切です。学年（年次）・組・性別・（氏名）の外には、10項目程度の質問が望ましいと言えます。

作成に当たっては、必須項目の外、自由選択項目から3項目程度、学校独自項目から2項目程度を選択し、作成してください。

【必須項目】

1	私はいじめを受けている。
2	私は人をいじめている。
3	私はいじめられている人を見たことがある。
4	私はいじめられている人がいると聞いたことがある。
5	あなたには、いじめの問題について、悩みや学校に対する要望などがありますか。

【自由選択項目】

1	冷やかしからかいを受けている。
2	仲間はずれや無視されている。
3	遊び半分でたたかれたり、蹴られたりしている。
4	本気でたたかれたり、蹴られたりしている。
5	金品や物をたかられている。
6	金品や物を隠されたり、盗まれたり、壊されたりしている。
7	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされている。
8	パソコンや携帯電話を使って、悪口や嫌なことをされている。
9	掃除当番や仕事を押し付けられている。
10	机を意図的に離されている。
11	学校へ行きたくない日がある。
12	いじめで悩んだときに相談できる人がいる。

【学校独自項目】

1	
2	
3	